

## 海外安全官民協力会議 第56回幹事会開催結果

1. 日時：平成28年12月9日（金）16時～17時

2. 場所：外務省（272国際会議室）

3. 出席者：幹事会メンバー 26名

オブザーバー 4名

領事局政策課長	森川 徹
領事局海外邦人安全課長	石瀬 素行
領事局海外邦人安全課邦人援護官	河内 俊夫
領事局邦人テロ対策室長	斉田 幸雄

4. 会議議事次第

(1) 最近の案件

① 最近の地域情勢

ア. 海外邦人援護統計【河内邦人援護官】

② 在外邦人の安全確保に向けた取組

ア. 「たびレジ」登録促進に向けた取組【森川領政長】

イ. 邦人退避に際する現地職員及び外国人配偶者の扱い【石瀬領安長】

ウ. 中堅・中小企業海外安全対策ネットワーク第1回幹事会会合の開催【斉田領対長】

(2) 質疑応答・その他

5. 議事要旨

(1) 最近の案件

① 最近の地域情勢

ア. 海外邦人援護統計【河内邦人援護官】

2015年（平成27年1月～12月）の海外邦人援護統計を12月に公表した。具体的には配付した資料をご覧いただきたいが、総援護件数は18,013件で、昨年の18,123件から110件（0.61%）の減少となった。総援護件数減少の主な要因は海外渡航者数の減少とみられ、昨年の統計において渡航者数が2013年の約1,750万人から2014年は1,690万人へと3.26%減少したのと比較して、2015年は1,620万人と4.08%減少している。総援護件数が減少することは良いことではあるが、総援護数の割合は昨年と比べて微減しているものの、援護対象者である海外渡航邦人数の減少率が総援護件数を上回っているため、比率的には昨年より増加していることとなる。今後外務省も注意していくが、の皆様にも注意喚起等積極的に行っていただきたい。

事件災害事案等で最も多いのは交通事故・交通機関での事故で、5割を占めており、事故件数は108件である。その他、航空機事故、列車事故等の被害が発生した。

自然災害では、昨年と比較して件数が4件から18件に増加しており、対象者数は67人から47人に減少している。これは、地震等の災害が発生した際に邦人援護が行われたためである。バス事故等一つの事案に多くの対象者がいる場合、1件でも大人数の被害があるとの計算の見方もあるため、若干の増減がある。

#### 【石瀬領安長】

本援護統計の懸念すべき点は、邦人の被害が出たテロの案件が3件も発生したのは2015年が初めてであるということである。その2年前の2013年はアルジェリア事件が起き、1件で多くの犠牲が出たが、2015年は3件発生しており、統計を取り始めた1986年以降で最大の件数である。また、本年は皆様ご承知のとおり、バングラデシュでのテロで多数の邦人が亡くなられており、テロの懸念は大きい。

統計の「加害案件」というのは、盗犯や傷害等の我々のイメージする犯罪だけではなく、入国違反や麻薬持ち込みの疑い、不法滞在等の一種の法律違反も含まれており、年によってばらつきがある。

援護統計には記載されていないものの、今年に入って目立った項目が2点あり、一つが女性の被害である。バンクーバーでの殺害事件や、インドで邦人が性犯罪の被害に遭った事件もつい最近起こっている。2点目が短期留学を含めた留学生関係で、外務省として現在力を入れて取り組んでいる。学生が巻き込まれる事件・事故は今年に入って特に目立っており、またニュースにもなり易い傾向がある。

本援護統計については、今後見直しの必要性を感じており、その年の傾向や注意しなければいけない点が浮き彫りになるような、分析の役に立つ資料に改善していきたいと考えている。

## ② 海外邦人の安全確保にむけた取り組み

### ア. 「たびレジ」登録促進に向けた取組【森川領政長】

「たびレジ」は海外の邦人安全を確保する重要なツールであるのご意見頂いている。現在の累計登録者数は約140万人に達しており、ダッカ事件後7月から4か月連続して毎月10万人以上の登録を達成した。これまでは、事件後は意識が高まって登録数が増えるが、次第に減少するという傾向があったが、今回は7月以降ずっと10万人以上増え続けている。要因の一つとしては、携帯電話のキャリア各社に協力してもらい、海外に入ると届くSMSメッセージに「海外安全情報は『たびレジ』から」という文が記載されているようにしたことである。その他にも機内誌やガイドブックに広告を掲載し、情報発信を行う等の広報の強化をしている。以前の「たびレジ」の広告では、「外務省」の文字を控えめに記載していたが、今回発信するに当たっては、ユーザーの皆様からの声を受領しており、

例えば「個人情報を登録するのに、運営主体が分かりにくい」というご意見を反映し、「外務省」の文字を大きくしている。年度内に空港でのプロモーションも行う予定であり、今後「たびレジ」の改善点等のご意見があれば、ぜひご連絡いただきたい。

#### イ. 邦人退避に際する現地職員及び外国人配偶者の扱い【石瀬領安長】

前回の第55回幹事会で退避について申し上げた際に、外国人の退避についても少し触れたが、法律的にいうと、外務省としては邦人の安全が第一であるため、有事の際にはできる限りのことは行うが、選択肢が限られる場合には、どうしても邦人が優先の対象とならざるを得ない。他方で企業の関係者には、現地の方や、外国人、日本人で外国人の配偶者がいる方等、様々な方々がいる。退避の際に別の国に行くケースは多いが、その国の受け入れ条件はどうしても国籍に左右されざるを得ない。いざという時の判断を外務省や企業が求められたとき、どのように対応するかという問題もあるが、まずはそのような事態に陥らないように、事前の準備をしていただきたい。そういった観点から、自社としての準備や現地の在外公館とのやり取り、有事の際の計画等、皆様のご意見を質疑応答の際に伺いたい。

#### ウ. 中堅・中小企業海外安全対策ネットワーク第1回幹事会会合の開催【齊田領対長】

中堅・中小企業海外安全対策ネットワーク第1回幹事会会合について報告を行った。

### (2) 質疑応答・その他

#### ① 海外邦人援護統計について

##### 【海外安全関連団体A】

「大変貴重な資料なので、もう少し早く発表していただけると大変ありがたい。」というご意見が数件届いている。

##### 【石瀬領安長】

統計内容の精査に時間がかかるのも理由の一つではあるが、少しでも早く公開できるよう、今後改善していきたい。

#### ② 「たびレジ」について

##### 【海外進出企業A】

「たびレジ」への登録については、従来から出張者への呼びかけを行っていたが、最近ではデータ連携を取り入れた。初期トラブルはあったが、現在はスムーズに機能しており、今までまとめて情報を登録していた部署からは、作業が効率化して大変便利になったとの意見をもらっている。

#### 【海外進出企業B】

「たびレジ」については、当社でも口コミで広がっており、少しずつ根付いてきた。実際の出張等の海外渡航者数と比べて登録者数がまだ少ないのが課題。SMSについては、ローミングメッセージはいつ届くのか教えていただきたい。ぜひ今後社内で通知したいと考えている。

#### 【森川領政長】

各キャリアのローミング紹介文の後、「海外安全情報は「たびレジ」から」と一律でメッセージが入るので、わかり易いのではないかと思う。

#### 【海外進出企業C】

国によってはローミングの連絡の際に「たびレジ」の案内文が入らない会社もあるので、基本的には自分の意思で登録するように意識していくことが大切であるとする。

### ③ 邦人退避に際する現地職員及び外国人配偶者の扱いについて

#### 【海外進出企業C】

当社では、帯同家族に関しては外務省からの勧告が発出される前に退避するようにしており、その際、本社員の外国人配偶者については国籍に関係なく退避支援の対象としている。外国人配偶者が退避先の国に入国可能かどうかを事前に調べた上で、可能な国の航空券等の手配を行う。他方で米国籍などの所有者については、母国政府が別途支援を行うケースもあり、母国政府による発表を待って退避の方法を決定したいという方もいるため、その際には日本の外務省の勧告と比較してどちらを選択するかは個人の自由としている。

外国人現地社員についても、退避の際は本社員と同様に支援を行うことを認めることもある。

しかしながら、海外の支店から実際に退避を行うとなった場合でも、事務所の管理等が必要であり、現地社員には可能な限り現地事務所を維持管理してもらう為、現地社員が残る場合には、給与を前払いすると共に事務所の維持費も渡すこととしている。

#### 【石瀬領安長】

退避については起こらないのに越したことはないが、外務省としては実際に支援が必要な状況になればできる限りの対応をする。ご主人は他国に退避できるが外国籍のご夫人はできないというようなケースは実際に起こり得る問題でもあるので、退避先国の入国制限について事前に調査することは非常に重要である。企業の皆様におかれては、他国への入国制限がある国籍の方を現地社員として雇われていたり、外国籍の家族を持つ本社員がいる場合には、特に事前の準備を心がけて頂きたい。

④ 治安情勢について

【海外進出企業D】

情報共有ではあるが、フィリピンのダバオに社員を2か月単位で出張させていたが、現在は治安情勢の問題で引き上げさせており、どのタイミングで事業を再開するか悩んでいる所である。

【海外進出企業E】

デュッセルドルフ総領事館からのみ、欧州刑事警察機構（ユーロポール）のコメントとして「ISを支持するテロ組織が欧州を狙っている可能性がある。」との内容の領事メールが配信されていたが、外務省としての分析を教えてください。

⑤ 公職選挙法改正について

【森川領政長】

公職選挙法の一部を改正する法律が12月2日に公布された。本改正のポイントの一つは、在外投票に必要な在外選挙人名簿の登録がしやすくなる点である。従来の制度では、登録手続きは現地に赴任してから在外公館で行われていたため、遠方地に住む方々の負担が大きかったが、今後は日本出発前に各市町村の窓口で転出届を提出する際に、登録申請を行うことができるようになる。ただし、市町村の窓口で申請が可能になるのは在外選挙の登録のみであり、別途在留届を在外公館に提出することが求められる（インターネットでの提出も可）。また、選挙権年齢が18歳まで引き下げられたが、現地に居住しながら18歳を迎えた場合の登録申請は在外公館で行う必要がある。

在外選挙は登録率及び投票率も低いので、本改正を機に積極的にご活用いただけることを期待する。詳細はまた改めてご連絡する。

(了)

# 2015年（平成27年）海外邦人援護統計

## 目次

I	海外邦人援護件数の特徴と推移	1
1.	2015年（平成27年）の特徴	1
2.	援護件数・人数の推移総括表	2
3.	地域別援護件数・人数の推移総括表	3
4.	援護件数の多い在外公館上位20公館	4
5.	2015年（平成27年）の主な事件・事故の事例	5
6.	主な犯罪加害及びその他の事例の特徴	6
7.	海外で邦人が被害者となった主な殺人事件	6
8.	事故・災害・事件等の性別・年齢別統計	7
II	海外邦人援護統計の推移と2015年の内訳（グラフ）	9
III	事故・災害・事件等統計表（全世界及び地域別内訳）	16

2016年（平成28年）12月

外務省 領事局 海外邦人安全課

- 本統計は、在外公館から報告のあった情報に基づき作成されています。
- 本統計は、在外公館で把握している邦人援護事案のみであり、海外で邦人が関係した全ての事件・事故等を網羅したものではなく、海外で発生した事件・災害等の件数を表すものではありません。
- 「事故・災害」、「犯罪」及び「その他」は、海外の邦人(事案当事者)に対し、在外公館が実際に援護を実施した事案のみ計上しています。
- 所在調査のうち同一の事案に複数の在外公館が対応する場合には、在外公館毎では実数となりますが、全体では在外公館毎に集計した数値の合計(延べ数)となります。

## I. 海外邦人援護件数の特徴と推移

### 1. 2015年(平成27年)の特徴

(1) 2015年において我が国在外公館及び財団法人交流協会が取り扱った海外における事件・事故等に係わる総援護件数は18,013件(対前年比0.61%減)で、総援護対象者数は20,387人(同1.63%減)であった。

(2) 『事故・災害』は233件(421人)であった。そのうち約5割は「交通機関事故」(116件)であり、内訳は交通事故108件、航空事故4件、列車事故3件、その他1件となっている。次いで多いのは「レジャー・スポーツ事故」(38件)であり、内訳は水難事故38件、登山事故8件、スポーツ事故5件、その他2件となっている。

(3) 『犯罪被害』は4,719件(5,056人)であり、全体の約3割を占めているが、そのうち最も多いのは「窃盗被害」の3,834件(4,100人)となっている。次いで「詐欺被害」が382件(406人)、「強盗被害」が257件(280人)となっている。

(4) 『犯罪加害』は361件(452人)であった。主なものは、「出入国・査証関係犯罪」の73件(136人)、「傷害・暴行」53件(59人)、「道路交通法違反」38件(38人)となっている。また、国によって非常に重い量刑が科される「麻薬犯罪」は25件(28人)となっている。

(5) 「死亡者数」は533人で過去10年間で4番目に少なく、「負傷者数」は328人で過去10年間で最も少なかった。疾病等による死亡が406人で全死亡者数の約8割を占めており、次いで自殺による死亡者数が46人と約1割の割合となっている。

(6) 地域別では、アジア地域が6,160件(6,540人)と前年に引き続き最も多く、次いで北米地域の5,815件(6,850人)、欧州地域の4,198件(4,436人)、中南米地域の4,488件(1,488人)、大洋州地域の467件(491人)、アフリカ地域の297件(332人)、中東地域の250件(250人)となっており、前年と比較すると北米地域(175件増/295人増)と援護件数に大きな増加がみられ、逆に中南米地域(180件減/303人減)には大きな減少がみられる。

(7) 在外公館別の援護件数を見ると、在タイ日本国大使館(前年1位)が全在外公館の中で最も多く、次いで在フィリピン日本国大使館(前年3位)、在上海日本国総領事館(前年2年)、在ロサンゼルス日本国総領事館(前年5位)、在ニューヨーク日本国総領事館(前年8位)となっている。

#### < 件 数 >

		総 件 数							
		ア ジ ア	大 洋 州	北 米	中 南 米	欧 州	中 東	アフリカ	
内 訳	事 故 ・ 災 害	93	12	52	17	32	9	18	
	犯 罪 加 害	235	5	82	5	31	3	0	
	犯 罪 被 害	1,262	131	494	230	2,396	53	153	
	そ の 他	4,570	319	5,187	596	1,739	163	126	
	総 数	6,160	467	5,815	848	4,198	228	297	

#### < 人 数 >

		総 人 数							
		ア ジ ア	大 洋 州	北 米	中 南 米	欧 州	中 東	アフリカ	
内 訳	事 故 ・ 災 害	126	17	126	61	36	16	39	
	犯 罪 加 害	319	5	89	5	31	3	0	
	犯 罪 被 害	1,321	134	582	234	2,565	53	167	
	そ の 他	4,774	335	6,053	1,188	1,804	178	126	
	総 数	6,540	491	6,850	1,488	4,436	250	332	

## 2. 援護件数・人数の推移総括表

年	総件数	内容別件数			総人数	死亡者数	負傷者数	海外渡航者数
		強盗・窃盗・詐欺 (被害犯罪・財産犯)	遺失・拾得物 (旅券・財布等)	その他 (事故・犯罪加害・他案件)				
2006年	16,523件	5,839件	3,604件	7,080件	18,771人	484人	590人	17,534,565人
前年比増減率	3.56%	-3.04%	-3.48%	14.21%	-3.75%	-21.30%	-11.81%	0.75%
2007年	15,964件	5,341件	3,619件	7,004件	17,643人	547人	610人	17,294,935人
前年比増減率	-3.38%	-8.53%	0.42%	-1.07%	-6.01%	13.02%	3.39%	-1.37%
2008年	16,364件	5,229件	3,276件	7,859件	18,098人	615人	600人	15,987,250人
前年比増減率	2.51%	-2.10%	-9.48%	12.21%	2.58%	12.43%	-1.64%	-7.56%
2009年	16,963件	5,160件	3,072件	8,731件	18,843人	513人	443人	15,445,684人
前年比増減率	3.66%	-1.32%	-6.23%	11.10%	4.12%	-16.59%	-26.17%	-3.39%
2010年	17,515件	5,251件	3,253件	9,011件	19,882人	549人	708人	16,637,224人
前年比増減率	3.25%	1.76%	5.89%	3.21%	5.51%	7.02%	59.82%	7.71%
2011年	17,093件	5,010件	3,415件	8,668件	19,533人	592人	442人	16,994,200人
前年比増減率	-2.41%	-4.59%	4.98%	-3.81%	-1.76%	7.83%	-37.57%	2.15%
2012年	18,219件	5,198件	3,597件	9,424件	20,378人	537人	477人	18,490,657人
前年比増減率	6.59%	3.75%	5.33%	8.72%	4.33%	-9.29%	7.92%	8.81%
2013年	17,796件	5,091件	3,338件	9,367件	19,746人	601人	420人	17,472,748人
前年比増減率	-2.32%	-2.06%	-7.20%	-0.60%	-3.10%	11.92%	-11.95%	-5.50%
2014年	18,123件	4,796件	3,323件	10,004件	20,724人	522人	396人	16,903,388人
前年比増減率	1.84%	-5.79%	-0.45%	6.80%	4.95%	-13.14%	-5.71%	-3.26%
2015年	18,013件	4,473件	3,256件	10,284件	20,387人	533人	328人	16,213,789人
前年比増減率	-0.61%	-6.73%	-2.02%	2.80%	-1.63%	2.11%	-17.17%	-4.08%

注（１）海外渡航者数は歴年ごとに取りまとめたもの。

（２）死亡者数及び負傷者数には、犯罪被害によるもののほか、事故・災害、疾病、自殺によるもの等が含まれる。

（３）海外渡航者数は法務省入国管理局統計を採用した。

### 3. 地域別援護件数・人数の推移総括表

年	アジア		大洋州		北米		中南米		欧州		中東		アフリカ		総数	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
2006年	6,911	7,845	816	914	2,906	3,096	605	864	4,652	5,001	270	495	363	556	16,523	18,771
前年比増減率	10.35%	11.55%	-23.09%	-23.32%	2.58%	-29.22%	-19.97%	-10.09%	4.75%	-3.06%	-3.91%	54.21%	13.44%	20.09%	3.56%	-3.75%
2007年	6,924	7,618	731	793	2,732	2,877	734	923	4,210	4,630	245	278	388	524	15,964	17,643
前年比増減率	0.19%	-2.89%	-10.42%	-13.24%	-5.99%	-7.07%	21.32%	6.83%	-9.50%	-7.42%	-9.26%	-43.84%	6.89%	-5.76%	-3.38%	-6.01%
2008年	6,941	7,549	768	824	3,271	3,485	754	1,043	3,931	4,343	293	328	406	526	16,364	18,098
前年比増減率	0.25%	-0.91%	5.06%	3.91%	19.73%	21.13%	2.72%	13.00%	-6.63%	-6.20%	19.59%	17.99%	4.64%	0.38%	2.51%	2.58%
2009年	7,305	8,042	734	769	3,409	3,840	736	941	4,056	4,428	291	341	432	482	16,963	18,843
前年比増減率	5.24%	6.53%	-4.43%	-6.67%	4.22%	10.19%	-2.39%	-9.78%	3.18%	1.96%	-0.68%	3.96%	6.40%	-8.37%	3.66%	4.12%
2010年	7,535	8,163	679	726	3,544	3,966	701	999	4,287	5,128	355	424	414	476	17,515	19,882
前年比増減率	3.15%	1.50%	-7.49%	-5.59%	3.96%	3.28%	-4.76%	6.16%	5.70%	15.81%	21.99%	24.34%	-4.17%	-1.24%	3.25%	5.51%
2011年	6,760	7,143	625	703	4,291	5,021	842	1,103	3,924	4,174	233	391	418	998	17,093	19,533
前年比増減率	-10.29%	-12.50%	-7.95%	-3.17%	21.08%	26.60%	20.11%	10.41%	-8.47%	-18.60%	-34.37%	-7.78%	0.97%	109.66%	-2.41%	-1.76%
2012年	6,746	7,172	528	558	5,106	5,929	835	1,276	4,366	4,737	250	277	388	429	18,219	20,378
前年比増減率	-0.21%	0.41%	-15.52%	-20.63%	18.99%	18.08%	-0.83%	15.68%	11.26%	13.49%	7.30%	-29.16%	-7.18%	-57.01%	6.59%	4.33%
2013年	6,466	6,794	466	494	4,976	5,545	974	1,634	4,363	4,657	230	246	321	376	17,796	19,746
前年比増減率	-4.15%	-5.27%	-11.74%	-11.47%	-2.55%	-6.48%	16.65%	28.06%	-0.07%	-1.69%	-8.00%	-11.19%	-17.27%	-12.35%	-2.32%	-3.10%
2014年	5,985	6,245	494	528	5,660	6,853	1,028	1,787	4,328	4,573	295	311	333	427	18,123	20,724
前年比増減率	-7.44%	-8.08%	6.01%	6.88%	13.75%	23.59%	5.54%	9.36%	-0.80%	-1.80%	28.26%	26.42%	3.74%	13.56%	1.84%	4.95%
2015年	6,160	6,540	467	491	5,815	6,850	848	1,488	4,198	4,436	228	250	297	332	18,013	20,387
前年比増減率	2.92%	4.72%	-5.47%	-7.01%	2.74%	-0.04%	-17.51%	-16.73%	-3.00%	-3.00%	-22.71%	-19.61%	-10.81%	-22.25%	-0.61%	-1.63%

注: 下段は対前年比増減率

#### 4. 援護件数の多い在外公館上位20公館

順位	在外公館名	件数	順位	在外公館名	件数
1	在タイ日本国大使館	1,028件	11	在大韓民国日本国大使館	326件
2	在フィリピン日本国大使館	974件	12	在中華人民共和国日本国大使館	324件
3	在上海日本国総領事館	927件	13	在香港日本国総領事館	311件
4	在ロサンゼルス日本国総領事館	752件	14	在バンクーバー日本国総領事館	292件
5	在ニューヨーク日本国総領事館	669件	15	在イタリア日本国大使館	291件
6	在英国日本国大使館	591件	16	在サンフランシスコ日本国総領事館	273件
7	在ホノルル日本国総領事館	525件	17	在シアトル日本国総領事館	268件
8	在フランス日本国大使館	502件	18	在ハガッニャ日本国総領事館	241件
9	在バルセロナ日本国総領事館	416件	19	在ボストン日本国総領事館	233件
10	在デュッセルドルフ日本国総領事館	371件	20	在ヒューストン日本国総領事館	232件

※大使館、総領事館、領事事務所等のうち、援護件数の多い上位20公館を掲載。

## 5. 2015年（平成27年）の主な事件・事故の事例

### （1）事故・災害

- 航空事故
  - 1月 米国・フロリダ州において、訓練中のセスナが墜落し、邦人1名が死亡した。
  - 3月 フランス南東部において、航空機が墜落し、邦人2名が死亡した。
- レジャー事故
  - 4月 カナダ・アルバータ州において、スキー中の事故により、邦人1名が死亡した。
  - 7月 スイス・ペルン州において、パラグライダー中の事故により、邦人1名が死亡した。
  - 10月 コロンビア・ナリーニョ県において、パラグライダー中の事故により、邦人1名が死亡した。
  - 12月 オーストラリア・クイーンズランド州において、散策中滝壺に滑落し、邦人1名が死亡した。
- 登山事故
  - 8月 英国・ロージアン州において、トレッキング中の事故により、邦人1名が死亡した。
- 水難事故
  - 2月 オーストラリア・ニューサウスウェールズ州において、サメに襲われ、邦人1名が死亡した。
  - 3月 モルディブにおいて、遊泳中の事故により、邦人1名が死亡した。
  - 5月 オーストラリア・クイーンズランド州において、海中から浮上した際に意識を失い、邦人1名が死亡した。
  - 6月 インドネシア・バリ州において、サーフィン中の事故により、邦人1名が死亡した。
- 交通事故
  - 6月 米国・アリゾナ州において、バイクで移動するツアーに参加していた邦人数名のうち1名のバイクが土手に衝突し死亡。これを避けようとした邦人1名が負傷した。
  - 9月 米国・ワシントン州において、チャーターバスと観光客を乗せた水陸両用バスが衝突、邦人1名が死亡、邦人7名が負傷した。
  - 12月 アイスランド南東部において、邦人4名を乗せた乗用車が乗用車と衝突、邦人4名が死傷した。
- 作業事故
  - 3月 ニュージーランドにおいて、クレーン車で作業していた邦人1名が作業物資との間に挟まれ、死亡した。
- 自然災害
  - 4月 ネパール・エベレストにおいて、地震に伴う雪崩により、邦人1名が死亡した。
  - 6月 マレーシア・キナバル山において、地震の影響により、邦人1名が死亡した。

### （2）犯罪被害

- テロ シリアにおいて、テロ組織に誘拐された邦人2名が殺害された。また、チュニジアにおいて、博物館を見学していた邦人が武装したテロリストの襲撃に会い、死傷する事件が発生した他、バングラデシュのロングプール県において車に乗車していた邦人がISISを名乗る組織の人物から銃撃を受けた。
- 殺人・強盗致死 「海外で邦人が被害者となった主な殺人事件」（P. 6）参照
- 強盗・同未遂 路上強奪等の一般的な強盗が最も多く、侵入強盗、羽交い締め・首締め強盗、睡眠薬強盗、車両強盗と続く。
- 窃盗・同未遂 スリが最も多く、置き引き、車上狙い、ひったくり、空き巣と続く。スリと置き引きで全体の約7割を占める。
- 傷害・暴行 路上での一方的な暴行やケンカ等の一般的な傷害・暴行が大半を占め、成人に対するDV、未成年に対するDVと続く。
- 詐欺・同未遂 暴力キャッチパーが最も多く、偽警察官・ガイド、いかさま賭博、商品詐欺、419詐欺と続く。

## 6. 主な犯罪加害及びその他の事例の特徴

### (1) 犯罪加害

- 出入国・査証関係犯罪 不法滞在が大半を占める。
- 傷害・暴行 喧嘩等と家庭内暴力で大半を占める。
- 道路交通法違反 スピード違反が大半を占める。

### (2) その他の事例

- 傷 病 746人のうち、アジア地域が全体の約7割を占める。疾病等による死亡者は406人を数え、全死亡者の約9割を占める。
- 精神障害 179人のうち、アジア地域と欧州地域で全体の約7割を占める。その他の地域では、北米地域は全体の約2割を占める。
- 困 窮 379人のうち、アジア地域が全体の約7割を占める。
- 遺 失 本人の不注意によるものが大半を占める。
- 所在調査 遺産相続、不動産登記、用地買収、未納地方税徴収等のため、海外に転出した邦人に連絡を取る必要がある場合、弁護士法23条の2による照会、官公庁、裁判所及び三親等以内の親族よりの所在調査依頼がある。なお、北米地域及び中南米地域については、戦前・戦後に移民したと思われる邦人の調査が多く含まれている。

## 7. 海外で邦人が被害者となった主な殺人事件

- 1月 メキシコ・バハカリフォルニア州において、邦人が殺害された。
- 2月 米国・カリフォルニア州において、邦人が殺害された。
- 5月 フィリピン・マニラ首都圏において、邦人が殺害された。
- 9月 インドネシア・ジャカルタ首都特別州において、邦人が殺害された。
- 10月 タイ・アントーン県において、邦人が殺害された。
- 10月 ブラジル・サンパウロ州において、邦人が殺害された。
- 12月 オーストラリア・クイーンズランド州において、邦人が殺害された。

## 事故・災害・事件等の性別・年齢別統計(1)

「全事項(事故・災害・事件等)」の性別・年齢別統計

地域	総人数	性別			年齢								滞在形態		
		男性	女性	不明	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	不明	在留邦人	短期滞在	不明
アジア	6,540	4,730	1,548	262	360	925	1,099	1,137	948	790	493	788	2,531	2,462	1,547
大洋州	491	199	260	32	47	133	73	77	60	24	16	61	262	83	146
北米	6,850	2,539	4,115	196	161	745	668	1,014	743	776	2,230	513	1,851	1,053	3,946
中南米	1,488	683	724	81	5	106	101	63	78	179	856	100	392	229	867
欧州	4,436	2,249	1,940	247	180	806	735	640	546	491	258	780	1,268	2,734	434
中東	250	156	85	9	12	82	58	40	15	15	10	18	71	174	5
アフリカ	332	188	98	46	6	77	71	48	25	14	9	82	165	145	22
計	20,387	10,744	8,770	873	771	2,874	2,805	3,019	2,415	2,289	3,872	2,342	6,540	6,880	6,967

「犯罪加害」の性別・年齢別統計

地域	総人数	性別			年齢								滞在形態		
		男性	女性	不明	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	不明	在留邦人	短期滞在	不明
アジア	319	221	33	65	4	32	64	64	43	26	10	76	89	70	160
大洋州	5	2	2	1	0	0	2	1	0	0	0	2	4	1	0
北米	89	59	26	4	2	26	18	15	8	4	0	16	38	37	14
中南米	5	4	1	0	1	0	1	2	1	0	0	0	2	3	0
欧州	31	18	12	1	2	7	4	7	6	1	3	1	18	12	1
中東	3	3	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	3	0	0
アフリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	452	307	74	71	9	66	89	89	59	32	13	95	154	123	175

「犯罪被害」の性別・年齢別統計

地域	総人数	性別			年齢								滞在形態		
		男性	女性	不明	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	不明	在留邦人	短期滞在	不明
アジア	1,321	941	331	49	48	275	296	260	176	94	38	134	447	724	150
大洋州	134	64	62	8	8	54	32	14	5	4	0	17	110	21	3
北米	582	289	284	9	47	193	113	87	41	22	8	71	218	353	11
中南米	234	133	80	21	2	63	61	33	22	12	9	32	78	141	15
欧州	2,565	1,407	1,093	65	103	522	451	410	367	346	154	212	476	1,960	129
中東	53	35	14	4	1	19	15	6	2	2	2	6	8	43	2
アフリカ	167	98	53	16	2	39	43	23	11	8	4	37	96	69	2
計	5,056	2,967	1,917	172	211	1,165	1,011	833	624	488	215	509	1,433	3,311	312

## 事故・災害・事件等の性別・年齢別統計(2)

### 「傷病」の性別・年齢別統計

地域	総人数	性別			年齢								滞在形態		
		男性	女性	不明	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	不明	在留邦人	短期滞在	不明
アジア	502	413	83	6	9	15	13	55	94	144	147	25	281	145	76
大洋州	9	3	5	1	0	3	1	1	0	1	1	2	7	1	1
北米	94	57	34	3	0	4	5	10	10	21	28	16	60	20	14
中南米	21	14	7	0	2	2	2	0	4	3	8	0	8	13	0
欧州	92	48	37	7	1	7	10	10	10	14	20	20	37	55	0
中東	4	1	2	1	0	0	0	2	0	0	1	1	0	4	0
アフリカ	24	15	6	3	0	4	2	4	1	2	3	8	12	12	0
計	746	551	174	21	12	35	33	82	119	185	208	72	405	250	91

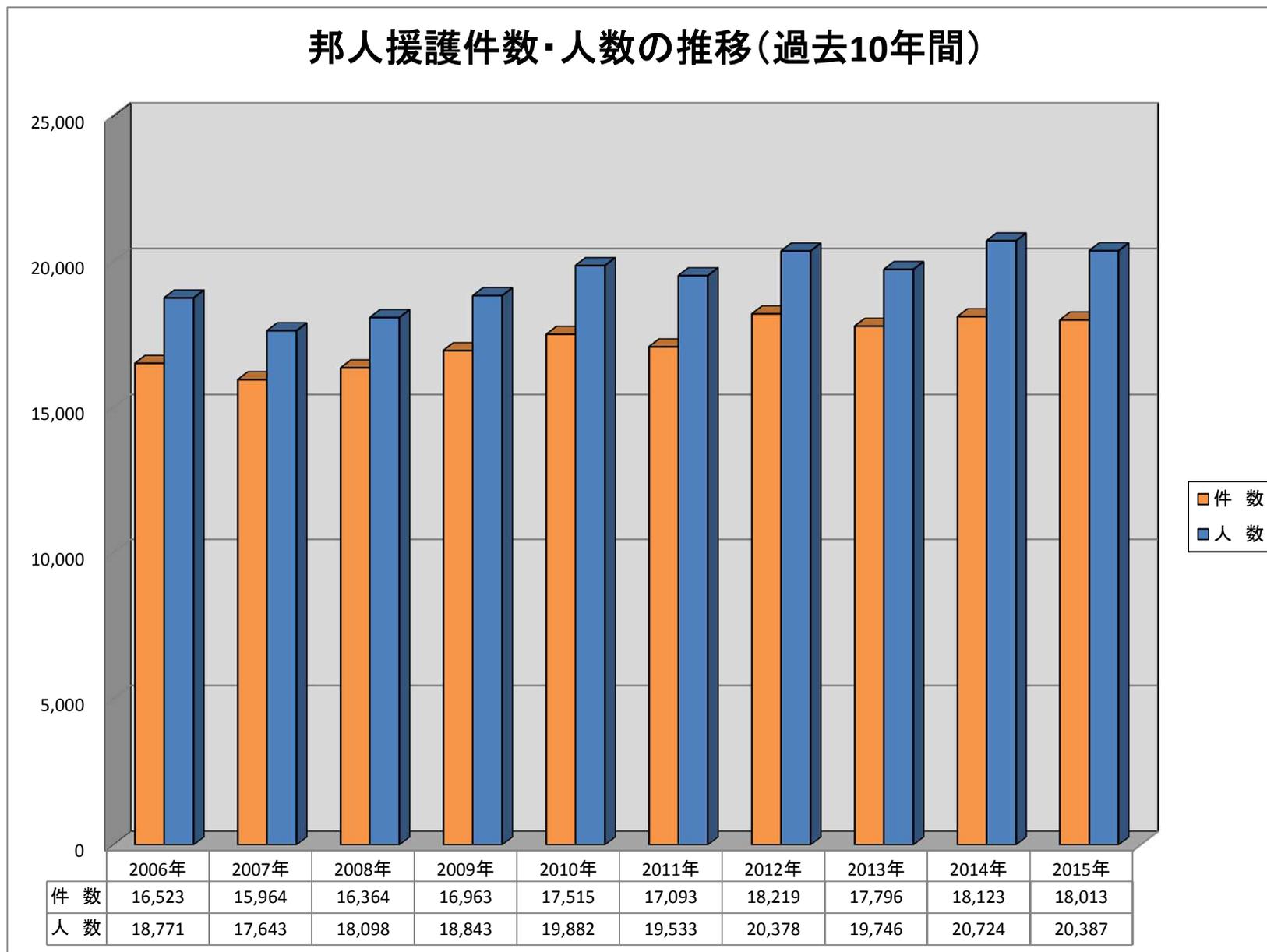
### 「困窮」の性別・年齢別統計

地域	総人数	性別			年齢								滞在形態		
		男性	女性	不明	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	不明	在留邦人	短期滞在	不明
アジア	265	217	46	2	29	44	25	30	37	51	37	12	151	84	30
大洋州	5	3	2	0	3	0	1	1	0	0	0	0	3	2	0
北米	40	20	19	1	2	7	4	8	7	3	5	4	18	19	3
中南米	11	9	2	0	0	5	0	2	0	1	3	0	3	8	0
欧州	43	25	15	3	3	8	5	7	10	4	1	5	6	35	2
中東	8	7	1	0	0	3	0	1	1	2	1	0	0	8	0
アフリカ	7	4	3	0	1	1	0	0	1	1	1	2	4	3	0
計	379	285	88	6	38	68	35	49	56	62	48	23	185	159	35

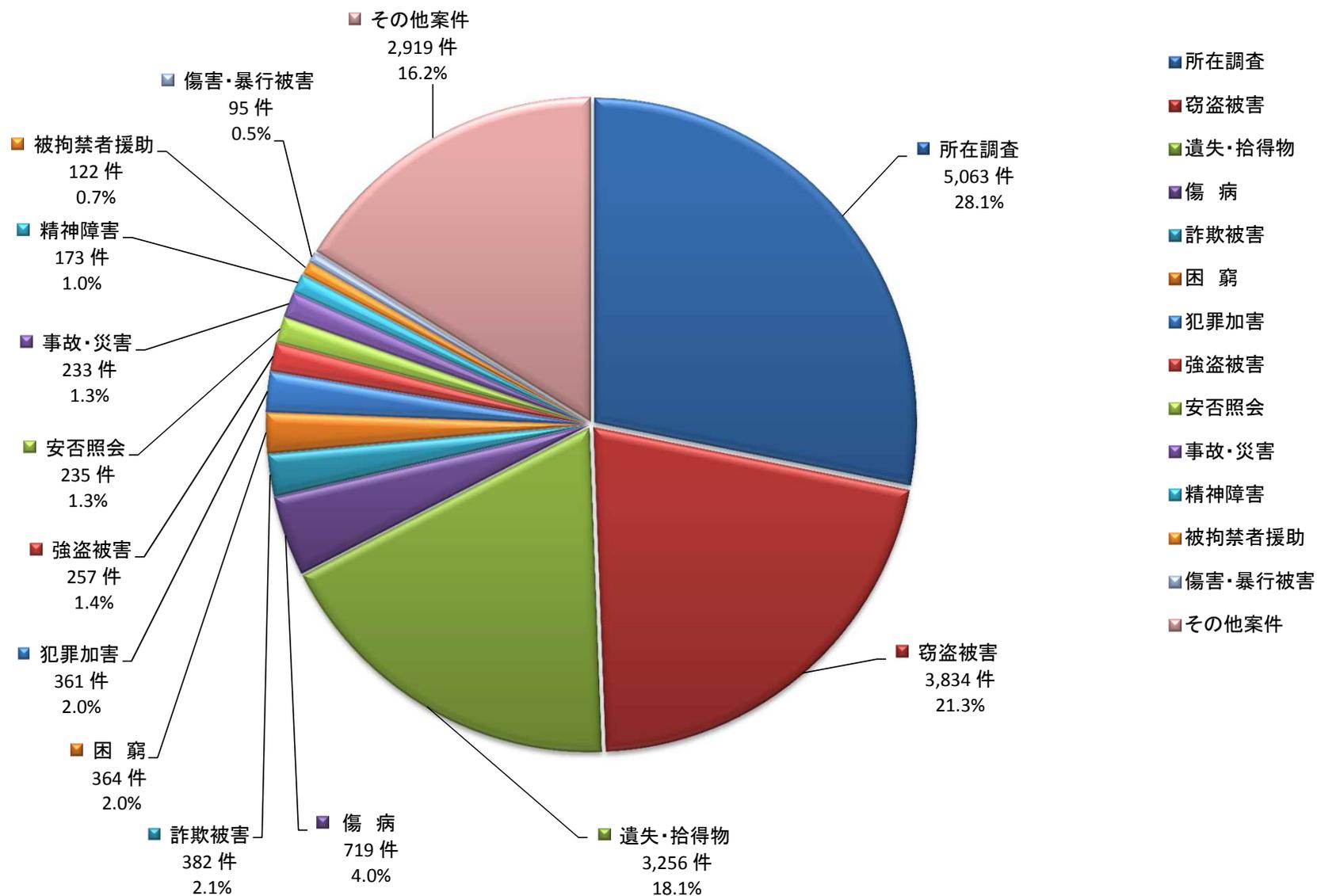
### 「遺失・拾得物」の性別・年齢別統計

地域	総人数	性別			年齢								滞在形態		
		男性	女性	不明	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	不明	在留邦人	短期滞在	不明
アジア	1,575	1,126	407	42	129	342	364	299	188	108	56	89	479	918	178
大洋州	110	48	60	2	33	43	15	5	5	1	2	6	76	32	2
北米	775	437	335	3	77	310	153	92	56	44	27	16	323	439	13
中南米	31	17	14	0	0	9	7	5	5	2	2	1	6	25	0
欧州	798	397	292	109	41	164	144	93	57	64	38	197	265	428	105
中東	24	14	10	0	0	12	5	1	1	2	3	0	4	20	0
アフリカ	5	4	1	0	0	1	2	1	0	0	1	0	2	3	0
計	3,318	2,043	1,119	156	280	881	690	496	312	221	129	309	1,155	1,865	298

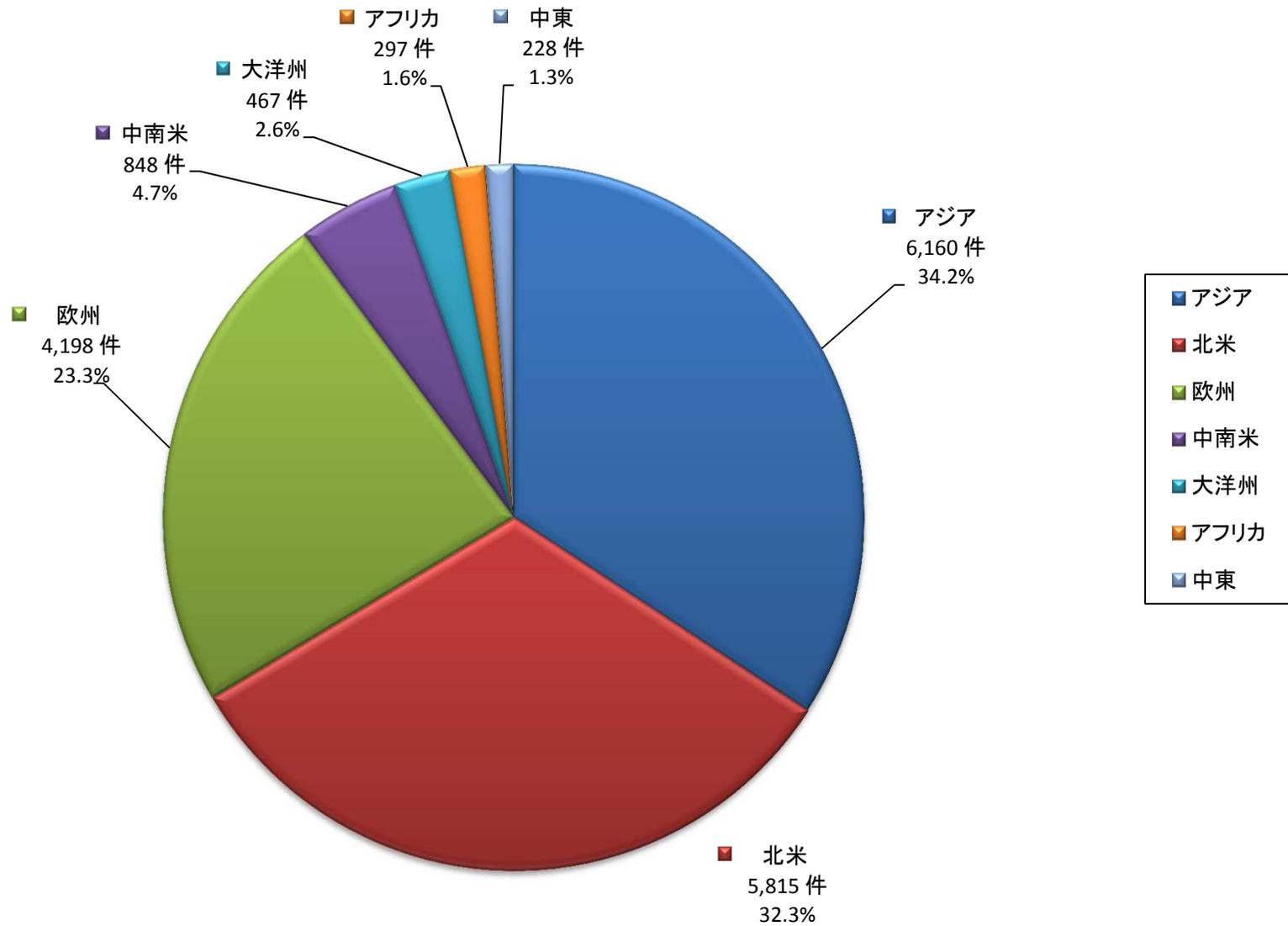
## II. 海外邦人援護統計の推移と2013年の内訳(グラフ)



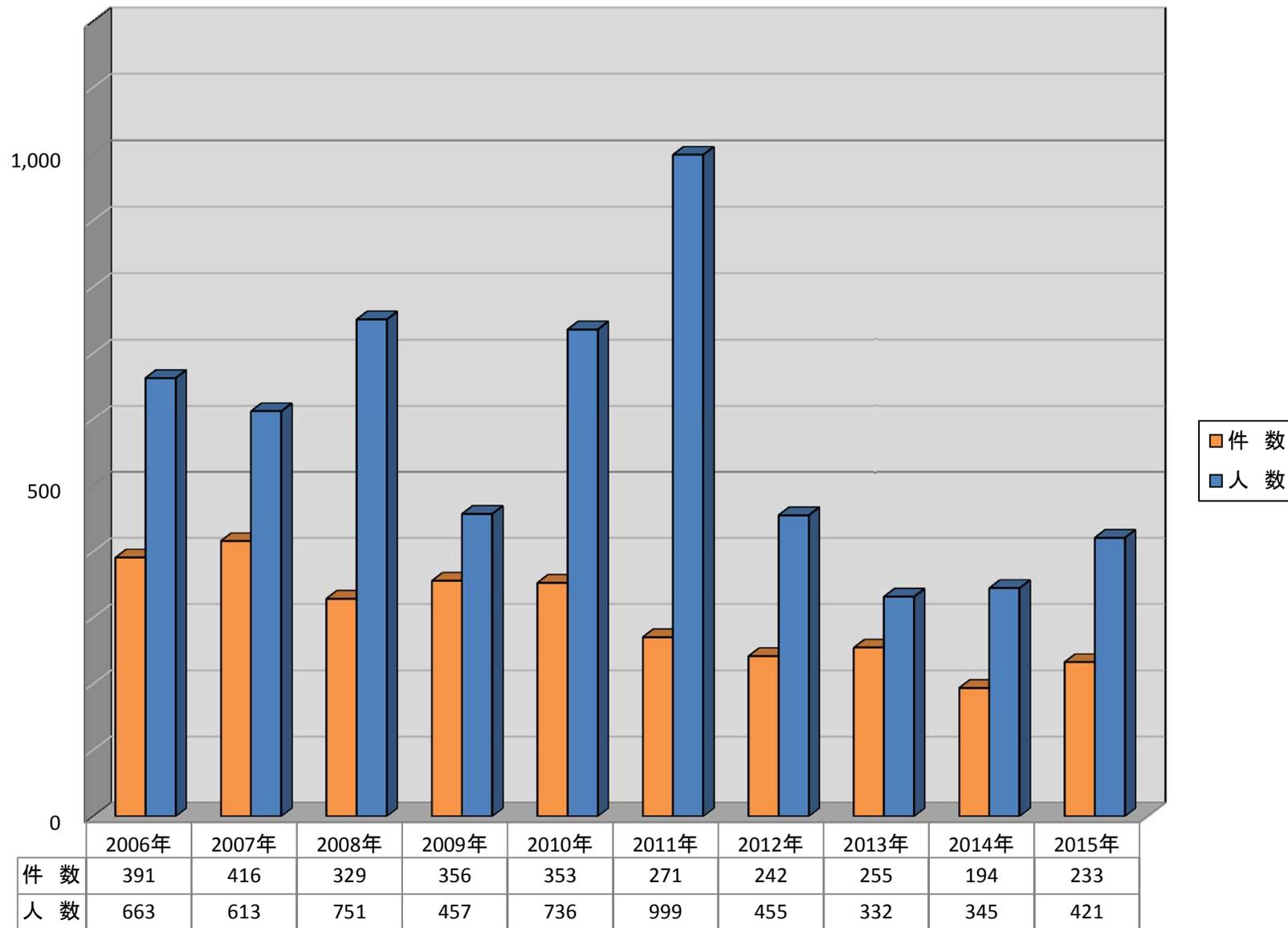
## 2015年海外邦人援護件数の事件別内訳



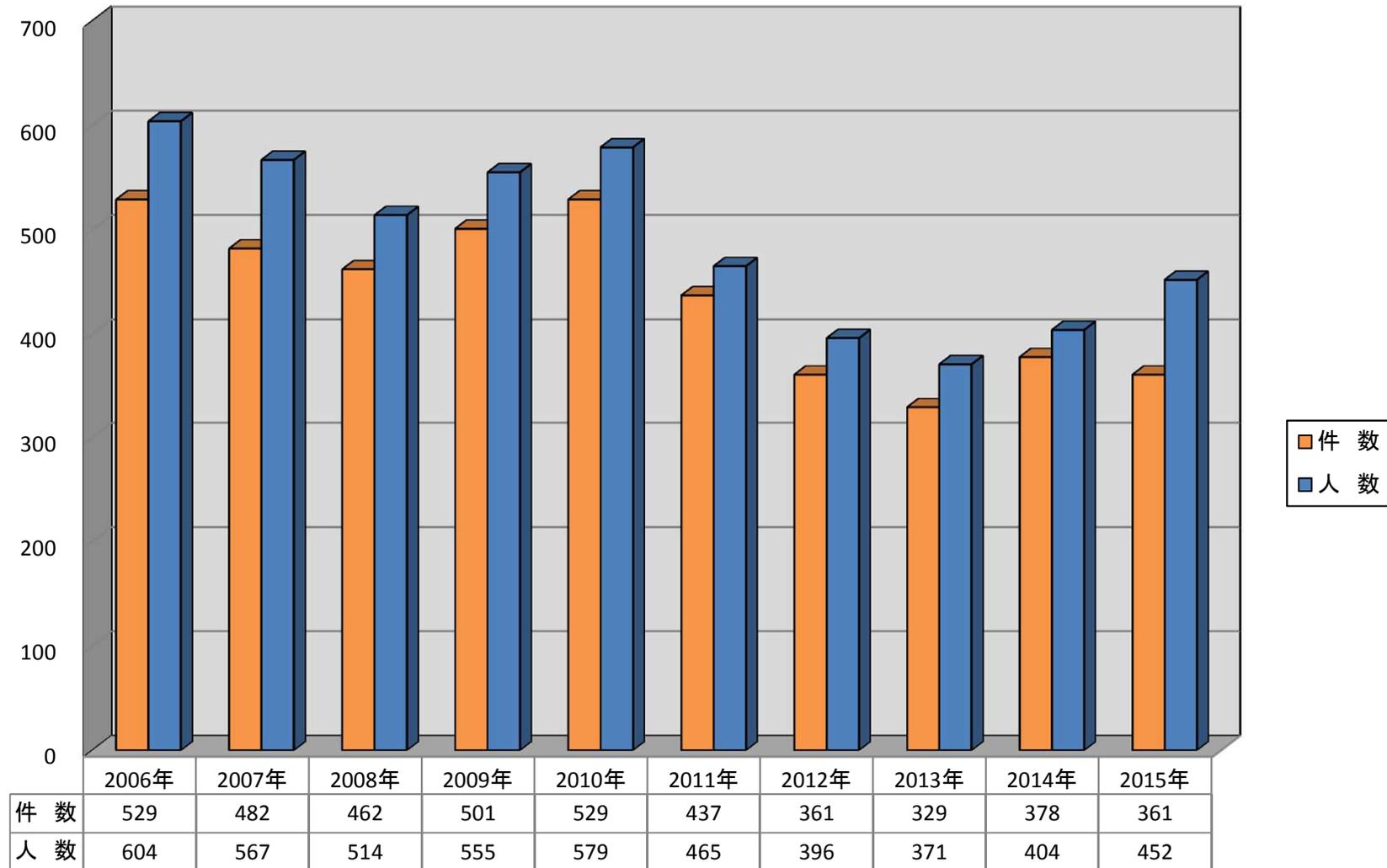
## 2015年海外邦人援護統計の地域別内訳



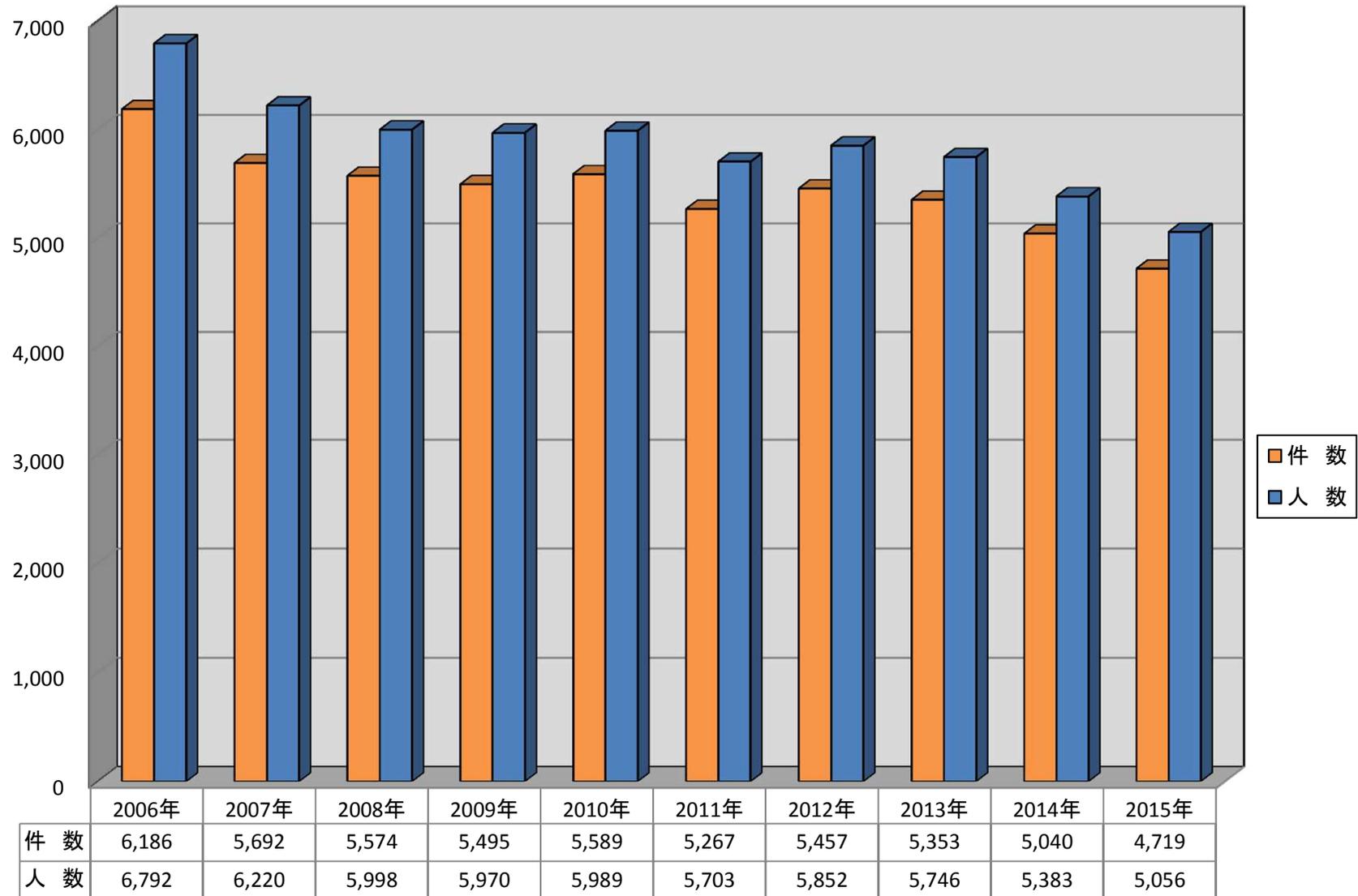
## 邦人援護件数・人数(事故・災害)



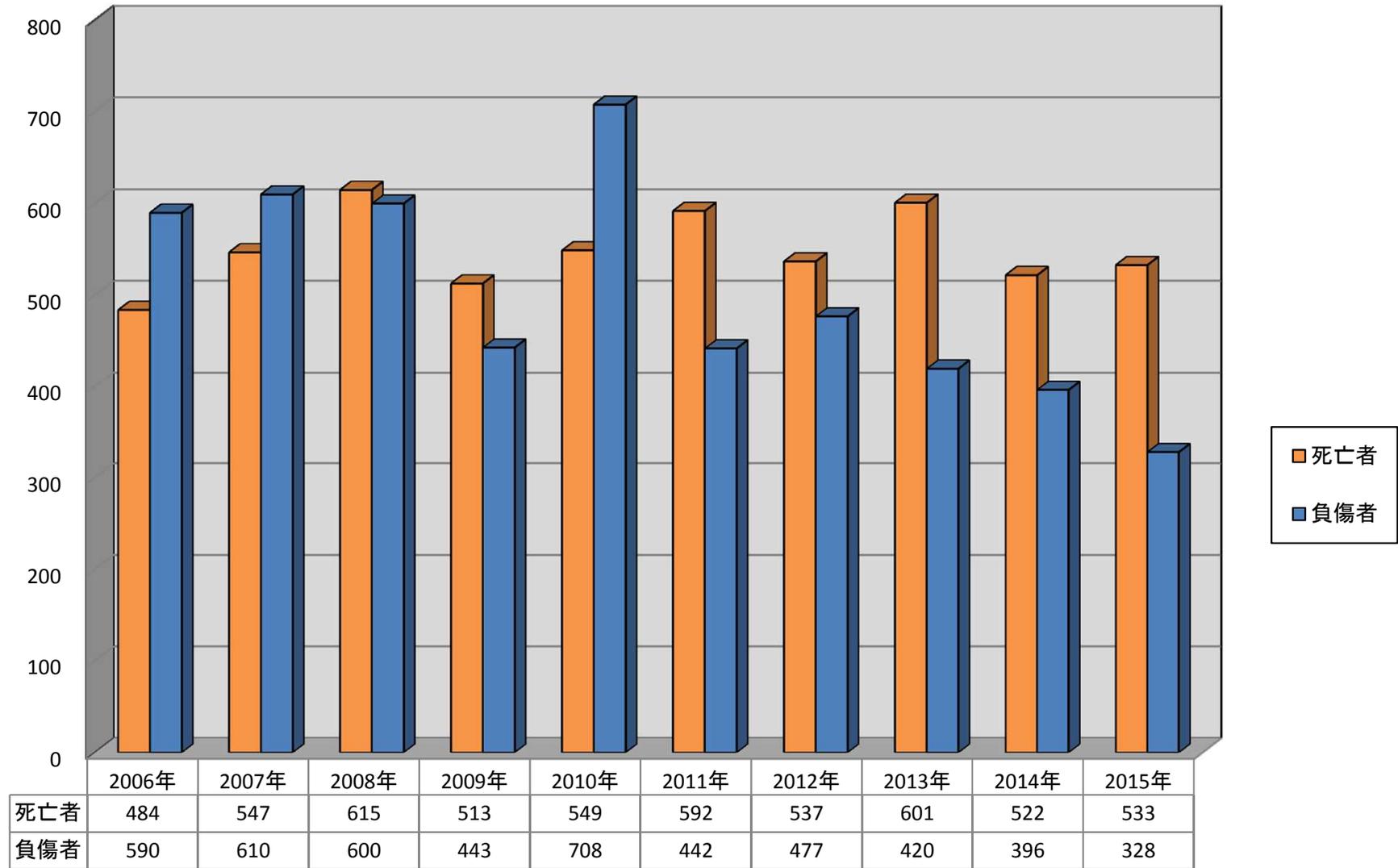
## 邦人援護件数・人数(犯罪加害)



## 邦人援護件数・人数(犯罪被害)



## 邦人援護件数・人数(死亡者・負傷者)



事故・災害・事件等統計表 2015年【全世界】

I. 事故・災害（新規事案のみ）						II. 犯罪（新規事案のみ）						III. その他（新規事案及び継続事案）											
						加害			被害														
件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳		
			死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他
レジャー・スポーツ事故	38	41	22	10	9	殺人	3	3	1	0	2	殺人	14	16	12	3	1	傷病	719	746	406	64	276
交通機関事故	116	151	20	88	43	麻薬	25	28	0	0	28	傷害・暴行	95	108	0	61	47	精神障害	173	179	0	1	178
自然災害	18	47	2	1	44	傷害・暴行	53	59	0	1	58	強姦・強制猥褻	33	34	0	2	32	自殺・同未遂	60	60	46	3	11
作業事故	7	7	3	4	0	強姦・強制猥褻	9	9	0	0	9	脅迫・恐喝	53	54	0	0	54	困窮	364	379	0	0	379
戦闘・暴動・クーデター	7	20	0	0	20	脅迫・恐喝	6	6	0	0	6	強盗・強奪	257	280	0	45	235	遺失・拾得物	3,256	3,318	0	0	3,318
その他	47	155	14	17	124	強盗	0	0	0	0	0	窃盗	3,834	4,100	0	20	4,080	被拘禁者援助	122	126	0	0	126
						窃盗	29	31	0	0	31	詐欺	382	406	0	2	404	所在調査	5,063	6,453	0	0	6,453
						詐欺	19	21	0	0	21	誘拐	0	0	0	0	0	安否照会	235	252	0	0	252
						外為法・関税法	19	24	0	0	24	テロ	3	10	6	4	0	行方不明	53	55	0	0	55
						出入国・査証関係犯罪	73	136	0	0	136	その他	48	48	0	0	48	その他	2,655	2,890	1	2	2,887
						道路交通法違反	38	38	0	0	38												
						売買春	13	14	0	0	14												
						銃刀法	5	5	0	0	5												
						その他	69	78	0	0	78												
計	233	421	61	120	240	計	361	452	1	1	450	計	4,719	5,056	18	137	4,901	計	12,700	14,458	453	70	13,935
																		総計	18,013	20,387	533	328	19,526

※「I. 事故・災害」及び「II. 犯罪」については、2015年中に発生した新規事案のみ計上。  
 ※「III. その他」については、新規案件及び前年以前からの継続事案を計上。  
 ※各犯罪には「未遂」と「致死」も含まれる。

事故・災害・事件等統計表 2015年【アジア地域】

I. 事故・災害（新規事案のみ）						II. 犯 罪（新規事案のみ）											III. その他（新規事案及び継続事案）						
						加 害					被 害												
件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳		
			死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他
レジャー・スポーツ事故	15	18	9	3	6	殺人	1	1	0	0	1	殺人	8	9	6	3	0	傷病	489	502	309	38	155
交通機関事故	56	74	7	51	16	麻薬	16	19	0	0	19	傷害・暴行	51	59	0	34	25	精神障害	67	72	0	1	71
自然災害	8	15	2	1	12	傷害・暴行	30	30	0	0	30	強姦・強制猥褻	10	11	0	0	11	自殺・同未遂	27	27	23	0	4
作業事故	2	2	2	0	0	強姦・強制猥褻	5	5	0	0	5	脅迫・恐喝	29	33	0	0	33	困窮	258	265	0	0	265
戦闘・暴動・クーデター	0	0	0	0	0	脅迫・恐喝	2	2	0	0	2	強盗・強奪	78	80	0	9	71	遺失・拾得物	1,549	1,575	0	0	1,575
その他	12	17	4	6	7	強盗	0	0	0	0	0	窃盗	823	850	0	7	843	被拘禁者援助	87	88	0	0	88
						窃盗	18	20	0	0	20	詐欺	245	261	0	2	259	所在調査	559	584	0	0	584
						詐欺	17	19	0	0	19	誘拐	0	0	0	0	0	安否照会	129	139	0	0	139
						外為法・関税法	17	22	0	0	22	テロ	1	1	1	0	0	行方不明	16	16	0	0	16
						出入国・査証関係犯罪	48	111	0	0	111	その他	17	17	0	0	17	その他	1,389	1,506	1	0	1,505
						道路交通法違反	16	16	0	0	16												
						売買春	13	14	0	0	14												
						銃刀法	4	4	0	0	4												
						その他	48	56	0	0	56												
計	93	126	24	61	41	計	235	319	0	0	319	計	1,262	1,321	7	55	1,259	計	4,570	4,774	333	39	4,402
																		総計	6,160	6,540	364	155	6,021

※「I. 事故・災害」及び「II. 犯罪」については、2015年中に発生した新規事案のみ計上。  
 ※「III. その他」については、新規案件及び前年以前からの継続事案を計上。  
 ※各犯罪には「未遂」と「致死」も含まれる。

事故・災害・事件等統計表 2015年【大洋州地域】

I. 事故・災害（新規事案のみ）						II. 犯罪（新規事案のみ）											III. その他（新規事案及び継続事案）						
						加害					被害												
件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳		
			死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他
レジャー・スポーツ事故	6	6	5	1	0	殺人	1	1	1	0	0	殺人	1	1	1	0	0	傷病	9	9	3	1	5
交通機関事故	3	3	0	1	2	麻薬	1	1	0	0	1	傷害・暴行	6	6	0	3	3	精神障害	5	5	0	0	5
自然災害	0	0	0	0	0	傷害・暴行	0	0	0	0	0	強姦・強制猥褻	8	8	0	1	7	自殺・同未遂	3	3	2	0	1
作業事故	1	1	1	0	0	強姦・強制猥褻	1	1	0	0	1	脅迫・恐喝	3	3	0	0	3	困窮	5	5	0	0	5
戦闘・暴動・クーデター	0	0	0	0	0	脅迫・恐喝	0	0	0	0	0	強盗・強奪	11	12	0	7	5	遺失・拾得物	104	110	0	0	110
その他	2	7	0	0	7	強盗	0	0	0	0	0	窃盗	85	87	0	1	86	被拘禁者援助	2	2	0	0	2
						窃盗	0	0	0	0	0	詐欺	13	13	0	0	13	所在調査	135	135	0	0	135
						詐欺	0	0	0	0	0	誘拐	0	0	0	0	0	安否照会	10	16	0	0	16
						外為法・関税法	0	0	0	0	0	テロ	0	0	0	0	0	行方不明	1	1	0	0	1
						出入国・査証関係犯罪	2	2	0	0	2	その他	4	4	0	0	4	その他	45	49	0	0	49
						道路交通法違反	0	0	0	0	0												
						売買春	0	0	0	0	0												
						銃刀法	0	0	0	0	0												
						その他	0	0	0	0	0												
計	12	17	6	2	9	計	5	5	1	0	4	計	131	134	1	12	121	計	319	335	5	1	329
																		総計	467	491	13	15	463

※「I. 事故・災害」及び「II. 犯罪」については、2015年中に発生した新規事案のみ計上。  
 ※「III. その他」については、新規案件及び前年以前からの継続事案を計上。  
 ※各犯罪には「未遂」と「致死」も含まれる。

事故・災害・事件等統計表 2015年【北米地域】

I. 事故・災害（新規事案のみ）						II. 犯罪（新規事案のみ）											III. その他（新規事案及び継続事案）						
						加害					被害												
件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳		
			死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他
レジャー・スポーツ事故	9	9	4	4	1	殺人	0	0	0	0	0	殺人	2	2	1	0	1	傷病	86	94	56	9	29
交通機関事故	29	40	6	23	11	麻薬	6	6	0	0	6	傷害・暴行	20	24	0	9	15	精神障害	37	38	0	0	38
自然災害	2	2	0	0	2	傷害・暴行	16	22	0	1	21	強姦・強制猥褻	5	5	0	0	5	自殺・同未遂	13	13	9	2	2
作業事故	1	1	0	1	0	強姦・強制猥褻	1	1	0	0	1	脅迫・恐喝	6	5	0	0	5	困窮	37	40	0	0	40
戦闘・暴動・クーデター	0	0	0	0	0	脅迫・恐喝	2	2	0	0	2	強盗・強奪	25	28	0	8	20	遺失・拾得物	762	775	0	0	775
その他	11	74	2	3	69	強盗	0	0	0	0	0	窃盗	386	467	0	3	464	被拘禁者援助	26	29	0	0	29
						窃盗	6	6	0	0	6	詐欺	42	42	0	0	42	所在調査	3,719	4,489	0	0	4,489
						詐欺	1	1	0	0	1	誘拐	0	0	0	0	0	安否照会	40	40	0	0	40
						外為法・関税法	2	2	0	0	2	テロ	0	0	0	0	0	行方不明	15	17	0	0	17
						出入国・査証関係犯罪	14	14	0	0	14	その他	8	9	0	0	9	その他	452	518	0	0	518
						道路交通法違反	18	18	0	0	18												
						売買春	0	0	0	0	0												
						銃刀法	0	0	0	0	0												
						その他	16	17	0	0	17												
計	52	126	12	31	83	計	82	89	0	1	88	計	494	582	1	20	561	計	5,187	6,053	65	11	5,977
																		総計	5,815	6,850	78	63	6,709

※「I. 事故・災害」及び「II. 犯罪」については、2015年中に発生した新規事案のみ計上。  
 ※「III. その他」については、新規案件及び前年以前からの継続事案を計上。  
 ※各犯罪には「未遂」と「致死」も含まれる。

事故・災害・事件等統計表 2015年【中南米地域】

I. 事故・災害（新規事案のみ）						II. 犯 罪（新規事案のみ）											III. その他（新規事案及び継続事案）						
						加 害					被 害												
件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳		
			死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他
レジャー・スポーツ事故	1	1	1	0	0	殺人	0	0	0	0	0	殺人	2	3	3	0	0	傷病	20	21	8	3	10
交通機関事故	2	2	0	1	1	麻薬	1	1	0	0	1	傷害・暴行	1	1	0	1	0	精神障害	0	0	0	0	0
自然災害	6	15	0	0	15	傷害・暴行	1	1	0	0	1	強姦・強制猥褻	0	0	0	0	0	自殺・同未遂	3	3	2	0	1
作業事故	2	2	0	2	0	強姦・強制猥褻	0	0	0	0	0	脅迫・恐喝	3	1	0	0	1	困窮	10	11	0	0	11
戦闘・暴動・クーデター	0	0	0	0	0	脅迫・恐喝	0	0	0	0	0	強盗・強奪	64	72	0	9	63	遺失・拾得物	31	31	0	0	31
その他	6	41	1	3	37	強盗	0	0	0	0	0	窃盗	153	148	0	0	148	被拘禁者援助	0	0	0	0	0
						窃盗	1	1	0	0	1	詐欺	6	8	0	0	8	所在調査	474	1,061	0	0	1,061
						詐欺	0	0	0	0	0	誘拐	0	0	0	0	0	安否照会	6	6	0	0	6
						外為法・関税法	0	0	0	0	0	テロ	0	0	0	0	0	行方不明	1	1	0	0	1
						出入国・査証関係犯罪	2	2	0	0	2	その他	1	1	0	0	1	その他	51	54	0	2	52
						道路交通法違反	0	0	0	0	0												
						売買春	0	0	0	0	0												
						銃刀法	0	0	0	0	0												
						その他	0	0	0	0	0												
計	17	61	2	6	53	計	5	5	0	0	5	計	230	234	3	10	221	計	596	1,188	10	5	1,173
																		総計	848	1,488	15	21	1,452

※「I. 事故・災害」及び「II. 犯罪」については、2015年中に発生した新規事案のみ計上。  
 ※「III. その他」については、新規案件及び前年以前からの継続事案を計上。  
 ※各犯罪には「未遂」と「致死」も含まれる。

事故・災害・事件等統計表 2015年【欧州地域】

I. 事故・災害（新規事案のみ）						II. 犯罪（新規事案のみ）											III. その他（新規事案及び継続事案）						
						加害					被害												
件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳		
			死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他
レジャー・スポーツ事故	6	6	3	2	1	殺人	1	1	0	0	1	殺人	1	1	1	0	0	傷病	87	92	25	11	56
交通機関事故	13	17	4	11	2	麻薬	1	1	0	0	1	傷害・暴行	13	14	0	11	3	精神障害	59	59	0	0	59
自然災害	0	0	0	0	0	傷害・暴行	5	5	0	0	5	強姦・強制猥褻	8	8	0	1	7	自殺・同未遂	11	11	8	1	2
作業事故	0	0	0	0	0	強姦・強制猥褻	2	2	0	0	2	脅迫・恐喝	3	3	0	0	3	困窮	39	43	0	0	43
戦闘・暴動・クーデター	0	0	0	0	0	脅迫・恐喝	2	2	0	0	2	強盗・強奪	37	40	0	4	36	遺失・拾得物	782	798	0	0	798
その他	13	13	6	4	3	強盗	0	0	0	0	0	窃盗	2,282	2,441	0	6	2,435	被拘禁者援助	2	2	0	0	2
						窃盗	4	4	0	0	4	詐欺	40	46	0	0	46	所在調査	171	179	0	0	179
						詐欺	1	1	0	0	1	誘拐	0	0	0	0	0	安否照会	42	43	0	0	43
						外為法・関税法	0	0	0	0	0	テロ	0	0	0	0	0	行方不明	16	16	0	0	16
						出入国・査証関係犯罪	7	7	0	0	7	その他	12	12	0	0	12	その他	530	561	0	0	561
						道路交通法違反	4	4	0	0	4												
						売買春	0	0	0	0	0												
						銃刀法	1	1	0	0	1												
						その他	3	3	0	0	3												
計	32	36	13	17	6	計	31	31	0	0	31	計	2,396	2,565	1	22	2,542	計	1,739	1,804	33	12	1,759
																		総計	4,198	4,436	47	51	4,338

※「I. 事故・災害」及び「II. 犯罪」については、2015年中に発生した新規事案のみ計上。  
 ※「III. その他」については、新規案件及び前年以前からの継続事案を計上。  
 ※各犯罪には「未遂」と「致死」も含まれる。

事故・災害・事件等統計表 2015年【中東地域】

I. 事故・災害（新規事案のみ）						II. 犯罪（新規事案のみ）						III. その他（新規事案及び継続事案）											
						加 害			被 害														
件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳		
			死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他
レジャー・スポーツ事故	0	0	0	0	0	殺人	0	0	0	0	0	殺人	0	0	0	0	0	傷病	4	4	2	0	2
交通機関事故	2	2	2	0	0	麻薬	0	0	0	0	0	傷害・暴行	2	2	0	1	1	精神障害	3	3	0	0	3
自然災害	0	0	0	0	0	傷害・暴行	1	1	0	0	1	強姦・強制猥褻	2	2	0	0	2	自殺・同未遂	2	2	1	0	1
作業事故	1	1	0	1	0	強姦・強制猥褻	0	0	0	0	0	脅迫・恐喝	0	0	0	0	0	困窮	8	8	0	0	8
戦闘・暴動・クーデター	4	11	0	0	11	脅迫・恐喝	0	0	0	0	0	強盗・強奪	1	1	0	0	1	遺失・拾得物	23	24	0	0	24
その他	2	2	1	0	1	強盗	0	0	0	0	0	窃盗	10	10	0	0	10	被拘禁者援助	1	1	0	0	1
						窃盗	0	0	0	0	0	詐欺	31	31	0	0	31	所在調査	3	3	0	0	3
						詐欺	0	0	0	0	0	誘拐	0	0	0	0	0	安否照会	3	3	0	0	3
						外為法・関税法	0	0	0	0	0	テロ	1	2	2	0	0	行方不明	4	4	0	0	4
						出入国・査証関係犯罪	0	0	0	0	0	その他	6	5	0	0	5	その他	112	126	0	0	126
						道路交通法違反	0	0	0	0	0												
						売買春	0	0	0	0	0												
						銃刀法	0	0	0	0	0												
						その他	2	2	0	0	2												
計	9	16	3	1	12	計	3	3	0	0	3	計	53	53	2	1	50	計	163	178	3	0	175
																		総計	228	250	8	2	240

※「I. 事故・災害」及び「II. 犯罪」については、2015年中に発生した新規事案のみ計上。  
 ※「III. その他」については、新規案件及び前年以前からの継続事案を計上。  
 ※各犯罪には「未遂」と「致死」も含まれる。

事故・災害・事件等統計表 2015年【アフリカ地域】

I. 事故・災害（新規事案のみ）						II. 犯 罪（新規事案のみ）											III. その他（新規事案及び継続事案）						
						加 害					被 害												
件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳		
			死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他
レジャー・スポーツ事故	1	1	0	0	1	殺人	0	0	0	0	0	殺人	0	0	0	0	0	傷病	24	24	3	2	19
交通機関事故	11	13	1	1	11	麻薬	0	0	0	0	0	傷害・暴行	2	2	0	2	0	精神障害	2	2	0	0	2
自然災害	2	15	0	0	15	傷害・暴行	0	0	0	0	0	強姦・強制猥褻	0	0	0	0	0	自殺・同未遂	1	1	1	0	0
作業事故	0	0	0	0	0	強姦・強制猥褻	0	0	0	0	0	脅迫・恐喝	9	9	0	0	9	困窮	7	7	0	0	7
戦闘・暴動・クーデター	3	9	0	0	9	脅迫・恐喝	0	0	0	0	0	強盗・強奪	41	47	0	8	39	遺失・拾得物	5	5	0	0	5
その他	1	1	0	1	0	強盗	0	0	0	0	0	窃盗	95	97	0	3	94	被拘禁者援助	4	4	0	0	4
						窃盗	0	0	0	0	0	詐欺	5	5	0	0	5	所在調査	2	2	0	0	2
						詐欺	0	0	0	0	0	誘拐	0	0	0	0	0	安否照会	5	5	0	0	5
						外為法・関税法	0	0	0	0	0	テロ	1	7	3	4	0	行方不明	0	0	0	0	0
						出入国・査証関係犯罪	0	0	0	0	0	その他	0	0	0	0	0	その他	76	76	0	0	76
						道路交通法違反	0	0	0	0	0												
						売買春	0	0	0	0	0												
						銃刀法	0	0	0	0	0												
						その他	0	0	0	0	0												
計	18	39	1	2	36	計	0	0	0	0	0	計	153	167	3	17	147	計	126	126	4	2	120
																		総計	297	332	8	21	303

※「I. 事故・災害」及び「II. 犯罪」については、2015年中に発生した新規事案のみ計上。  
 ※「III. その他」については、新規案件及び前年以前からの継続事案を計上。  
 ※各犯罪には「未遂」と「致死」も含まれる。